



2022年 ミラノデザインウィークのご案内

20周年を迎えるトム・ディクソンの企画展 'TWENTY'



2022年に60周年を迎える世界最大のインテリア・ライフスタイルの見本市、ミラノ・サローネ。

革新的で洗練されたコンセプトでデザインを世に送り出すインテリアの先駆者トム・ディクソンも、2002年に自身の名前を冠したインテリアブランド「Tom Dixon(トム・ディクソン)」を設立してから今年で20周年を迎えます。

この節目を記念して、ミラノデザインウィークの期間中、企画展「TWENTY」を開催します。本展では、ブランドの設立以来、トム・ディクソンが開発した代表的なデザインピースをご紹介します、その歩みを振り返りながら、未来を見据えた革新的な新作をご紹介します。

Sotheby's がギャラリーおよびオフィスを構えるパラッツォ・セルベローニでの開催となります。

また、トム・ディクソンのミラノ拠点「The Manzoni (ザ・マンゾーニ)」でも、新作を展示します。

THE EXHIBITION "TWENTY"

Address : Corso Venezia, 16, Milano /Palazzo Serbelloni, Sotheby's Milan

Opening Hours : 6月7日 (火) - 12日 (日) 10:00~21:00 (木 22:00、日 19:00まで)

事前登録制。ご来場にあたっては、事前にウェブサイトより事前予約をお願いいたします

<https://www.eventbrite.co.uk/e/tom-dixons-twenty-exhibition-milan-tickets-328238298587>

Press Preview : 6月7日 (火) 9:30~ Appointment Only

プレスプレビューへのご参加及びインタビューのご希望は、event@how-pr.co.jpまでご連絡ください。

THE MANZONI (TOM DIXON のミラノショールーム)

Address : Via Alessandro Manzoni, 5, Milano / TOM DIXON SHOWROOM

Opening Hours : 6月7日 (火) - 12日 (日) 10:00~21:00 (水 18:00、日 19:00まで)

企画展「TWENTY」 at Palazzo Serbelloni / 会場：パラッツォ・セルベローニ

世界最大のアートとラグジュアリー・アイテムのオークションで知られるサザビーズが、ミラノ・ギャラリーとオフィスを構える宮殿、パラッツォ・セルベローニで、トム・ディクソンのデザインとイノベーションの20年を祝う企画展、「TWENTY」が開催されます。

本展では、イノベーションとマテリアリティに焦点を当て、20の未公開作品を展示します。

「ミラーボール」、「メルト」、「ファット」といったトム・ディクソンの代表的なコレクションからインスピレーションを得たもの、アップグレードされたもの、実験段階のものなど、多様な展示を通し、トム・ディクソンのデザイン・ポートフォリオと、英国を代表するデザイナーになるまでの道のりを振り返りながら、今後、トム・ディクソンが向かう世界観をご覧ください。

未公開作品には、巨大な「メルト・ダイクロイック・シャンデリア」、デンマーク産の甘藷を使用したバード・チェア、天然ゴムを使用したSチェア、菌糸でできた巨大な彫刻物をはじめとした作品が含まれます。

また、同時に、サザビーズ・ミラノが、2022年6月21日～27日に行うわれるデザインのオークションに出品される作品が、入札前に公開されます。

ジオ・ポンティ、ジノ・サルファッティ、イングナツィオ・ガルデラ、エットーレ・ソットサスをはじめとする貴重な作品をご覧ください。またとない機会です。

トム・ディクソンの展示とあわせてお楽しみください。

「ブランドの歴史や製造工程、そしてブランドの「これから」を示す20点のオブジェを展示するのに、ミラノの中心部にある歴史的なパラッツォという厳粛で静寂なスペース以上のプラットフォームはないと考えました」 Tom Dixon

「TWENTY」で展示予定の新作

メルト・ダイクロイック・シャンデリア



ロンドンのカムデン・マーケットでみかける、安物のサングラスや、大英博物館にあるローマ時代初期のガラスの表面の質感など、身の回りの日用品を通して見ることの出来る視覚効果の一種、ダイクロイック*は、これまでに手掛けたトム・ディクソンの作品に多大なる影響を与えてきました。

近年、トム・ディクソンの展開商品の中でも、大変な人気を博している照明「メルト」をどのようにに進化させるかを考えた時、形やサイズを変えたり、新色を投入するのではなく、シェードの表面をダイクロイックフィルターで覆う事によって、光源の光を濾過し、新たな視覚効果を生み出すという結論に至りました。

強力なLED光源から発せられる光を、ダイクロイック加工されたシェードを通過させることで、スペクトルの構成要素に振り分け、シェード内部の反射にさらなる色彩の向上をもたらし、これまでに見たことの無い、宇宙時代の美学を体現するような作品に昇華させています。

*ダイクロイック：ダイクロイックミラーと呼ばれる特定の波長領域の光を透過し、残りの波長領域を反射するミラーのことで、有用な波長を照射し、不用な波長を後方に逃すことから、照明用光源や光学装置など、多くの用途で使われています。元々はNASA（アメリカ航空宇宙局）において開発された、白色光をその光を構成する複数の光源の色に分解する薄膜フィルターによって作り出されるものです。

「TWENTY」で展示予定の新作

ミラーボール・シャンデリア



トム・ディクソンは、環境への負荷を減らすため何が出来るかという命題に、常に製造メーカーと共に挑み続けています。

トム・ディクソンのヒット商品の一つである「ミラーボール」が発展した縦型シャンデリア「ミラーボール・シャンデリア」も、今回初お披露目となります。

シェードの素材には、100%リサイクルされたポリカーボネートを取り入れました。

技術の進化により、原料から新たに生成されたポリカーボネートと再生ポリカーボネートの間には、光学的な違いはほぼないため、照明としての効果は既存の商品と変わらないながら、環境負荷が少ない照明の商品化を実現しました。

「TWENTY」キャンペーン

20周年を記念し、トム・ディクソンは、年間を通じ、「TWENTY」キャンペーンを展開します。ミラノデザインウィークにはじまり、2022年は、9月にロンドン・デザイン・フェスティバル、パリ、ニューヨーク、LA、10月に上海での開催を予定しています。

トム・ディクソン 20年の歩み

- 2002 トム・ディクソンが自身の名を冠した会社を設立、第一弾として「ミラーボール」を発表
- 2003 デザインリサーチスタジオ (DRS) を設立。
- 2004 1989年にトム・ディクソンがデザインし、カッペリーニ社が発売したSチェアが
ニューヨーク近代美術館に永久保存される
- 2005 BEATライト発表
- 2006 「Great Giveaway」のスタントの一環として、射出成型されたポリスチレン製の椅子500脚を
トラファルガー広場に納品、注目を集める
- 2007 ショーディッチ・ハウスのためにウィングバック・チェアをデザイン
- 2008 ロンドンのセンター・ポイント・タワーの最上階にある会員制クラブの内装を手掛ける
イベントスペース「パラマウント」の内装を手掛ける
- 2009 ロンドンのサマセットハウスにボンベイ・サファイア・ダスク・バーを手掛ける
- 2010 バハマに水中バイオロック生産工場を設立する
- 2011 ブランド初の店舗、オフィス、レストランを備えた「The Dock」をロンドン西部にオープン
- 2012 ミラノ・サローネでMOSTを発表
- 2013 自身のデザイン哲学をつづった「DIXONARY」を出版
アディダスとのコラボレーションをミラノ・サローネで発表
- 2014 ロンドンのSea Containers Hotelのリニューアルを手掛ける
- 2015 MELTライトを発表し、瞬く間にベストセラーとなる
同年、アジア最初の旗艦店TOM DIXON SHOPを東京にオープン
- 2016 ミラノ・サローネで、シーザーストーンとコラボレーションした「The Restaurant」発表
- 2017 パリのシャンゼリゼ通のレストラン「Le Drugstore」のデザインを手掛ける
- 2018 ロンドンのキングス・クロスにCoal Office*をオープン (*新たな旗艦店と本社オフィスを兼ね備えた施設)
- 2019 ロンドン・デザイン・フェスティバル・メダル・アワードを受賞。
- 2020 北京に中国初の旗艦店をオープン
- 2021 エル・デコレーション・ブリティッシュ・デザイン・アワードを受賞
- 2022 ミラノ・サローネで20周年を祝うイベントを開催

本件に関するお問合せ先

HOW INC. MAIL : pressrelease@how-pr.co.jp TEL : 03-5414-6405